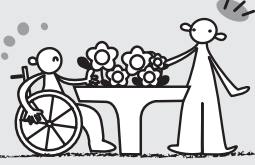


PART 1 初めての一步 助成部門

これからまちづくり活動をはじめよう! 助成限度額 5万円

これから福祉のまちづくり活動を始めるグループの、翌年以降の「パートナーシップ活動助成部門」への企画提案を目標とした、準備段階にあたる活動を対象とします。(地域の課題解決のための調査・学習、仲間づくりの活動等)



審査委員会が書類審査にて、審査をします。選考されたグループは、公開審査会において、企画を発表し、審査員との質疑応答を行います。秋の中間発表会、年度末の最終報告会で活動報告を行います。

地域福祉活動参加のポータルサイト = 気楽にお試し =

チームかけだし石神井

企画概要

団塊世代の地域社会デビューをサポートするために、相談情報ひろば「ウエルカム石神井公園」内にグループを立ち上げ、活動団体直接ではなく、チームかけだしを介してお試し参加できる仕組みを提供。駅前清掃活動や男性介護人のための息抜きランチミーティングに参加を募る。並行して地域活動状況を調査しつつ組織・運営体制の確立を行う。

選考理由

団塊世代・約9万人に的を絞った、時宜を得たユニークな提案。地域デビューのきっかけのひとつとして男性介護者の地域のつながりをコーディネートするとりくみも、有意義ですね。清掃活動だけでなく、豊かな発想で「お試し」メニューを拡大し、地域デビューのコーディネート力を培っていかれることを期待します。

顔の見える関係づくり ~歩いていける所に茶話会を~

澤の会

企画概要

認知症を発症した方とその家族、地域住民等を対象に、個人宅等での茶話会、区内のミニミニハイクの開催、今後「茶話会」を区内に広げていくための行動、定期刊行物の発行などを行う。

選考理由

「縁側」の発想と活動の発起が生活感にあふれた企画。認知症の方、そのパートナーの方の地域受け入れを促し、施設を利用する前段階でのケアの場所をつくっていくことは、重要な地域の課題。個人宅を使った茶話会の活動は効果が期待できます。かつての地域コミュニティのイメージにとらわれず、今の時代に合った新しい茶話会のイメージをつくりあげていただきたい。

ユニバーサルな社会を目指す 豊セン

ユニバーサル・コミュニティ豊セン

企画概要

豊玉高齢者センターで活動をする各種サークルが、地域のまちづくりやメンバー自身の介護予防を目指し、高齢者施設等に出向いて活動発表を行ったり、地域の清掃活動、公共施設の緑化、リサイクル運動等を行う。

選考理由

サークル活動等に参加されている元気な高齢者を担い手と考えた点を評価。高齢者センターを拠点としたとりくみとして有意義であり、積極的に広げていただきたいと思います。目的意識を整理し、確実に実現できるとりくみに絞るなど、活動内容にメリハリをつけ、計画の具体性については、さらにご検討ください。

PART 2 パートナーシップ活動助成部門 (地域活動)

まちの課題解決! 助成限度額 20万円

福祉のまちづくりの課題解決のための地域活動、計画づくり、情報発信、調査、社会実験を対象とします。

公開審査会にて選考します。提案グループは、一般区民も見学できる公開審査会にて、模造紙やパソコン等を使って企画発表をし、審査員との質疑応答を行い、助成グループを選考します。助成金額も同時に決定します。秋の中間発表会、年度末の最終報告会で活動報告を行います。

活動グループは次のページにつづく

栄町・桜台子育て支援マップ

※事業名は企画提案時のものです

栄町・桜台民生児童協議会まちマップ委員会

企画概要

自分たちのまちの公共施設・公園・遊び場、子育ての時に知っておきたい場所を調べ、わかりやすく、見やすいマップをつくる(範囲:栄町・桜台地区 2000部)

選考理由

昨年度のテーマ部門のバリアフリー地図作成のとりくみを、まちづくり活動へと発展させる有意義な活動。今年度限りの単発のとりくみにせず、栄町・桜台のまちづくりのステップのひとつと考え、大きな目標をもって取り組んでいただきたいと思います。作成・配布するプロセスを大切に、さらに今後、他地域でのモデルとなるとりくみとしていただきたい。また、地域の方を巻き込み、継続して活動できる体制づくりに努めてほしいです。

思いやりのある楽しいやさしいまちづくり 7-9まちのプチカレッジ開催

練馬地域福祉ハートフルアクトーズ

3年目

企画概要

誰もが時間を気にせず、気軽に参加できる、地域福祉のやさしい講座を6回開催する。第1~3、6回は講座と食事会。第4・5回は現地見学会に行く。

選考理由

提案者の意欲を感じます。夕方から商店街を拠点に学びの場をつくるという発想も面白いです。計画の目標、具体的な内容(講師、テーマ等)や効果、この講座によってどのような地域の課題が解決されるか区民にわかるような具体的な説明が必要。企画内容が、学習だけで終わっていることが残念です。2年間取り組んでこられたベンチ設置との関連も、ぜひ考えていただきたいですね。新しい参加者の広がりを期待します。

市民相談員養成講座

※事業名は企画提案時のものです

練馬市民相談ネット

企画概要

多様な人たちが地域の中で、支え合い、助け合う市民による市民のための仕組みをつくるために、地域に暮らす人々のさまざまな相談に応じて情報を提供したり、ボランティアの出張サービスをコーディネートするなどに対応できる市民相談員の養成講座を実施する。

選考理由

傾聴ボランティアの養成とネットワーク化は、有意義なとりくみで期待できる。市民相談員という名称は適切かどうか。区の助成事業として実施する際には注意が必要である。活動内容に即した事業名に変更いただきたい。ぜひ、公的な相談機関等と連携を図り、今後の活動を展開していただきたい。

練馬区福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業概要

① 審査の進め方

選考は、学識経験者、協働による福祉のまちづくりの実践者、事業者、区民、関係部署職員など計8名で構成する福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業審査委員会が行います。

審査のポイント ここに注目!

「福祉のまちづくり総合計画」との整合性 (企画提案の目的と基本方針の一致)

公共性 (地域への貢献度、ユニバーサルデザインの視点)

創意工夫 (地域独自の資源の活用、新しいアイデア)

多様な人との連携 (地域の複数組織との連携、多様な区民の参加)

福祉のまちづくりの普及 (活動の発展性、他の地域への波及効果)

実現性 (計画性、人材・資金の確保、地域合意)

公開審査会の流れ

地域活動、テーマ部門、設備整備を伴う活動の一次選考 ※はじめての一步部門は事前書類審査後、助成グループのみ発表と質疑応答。

